

令和6年6月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和6年6月28日（金） 15時8分～16時50分
2. 開催場所 日野町防災センター2階 202会議室
3. 出席委員 安田 寛次教育長、神川 貴子教育長職務代理者
本居 節子委員、吉澤 松美委員、村井 優子委員
4. 出席事務局員 教 育 次 長：正木 博之
学 校 教 育 課：不登校対応担当課長 赤尾 宗一
主 席 参 事 山中 博嗣
主 任 岡井 雅子
生 涯 学 習 課：課長 加納 治夫
図 書 館：館長 平松 久明
子 ども 支 援 課：課長 森 弘一郎

安田 教育長	日程1 開会 それでは、ただいまから日野町教育委員会定例会を開会します。 本日の定例会を議事日程に基づいて進行していきます。 ~~~~~
	日程2 教育長あいさつ (教育長あいさつ) ~~~~~
安田 教育長	日程3 前回議事録の報告 日程3 前回議事録の報告につきましては、お手元に配付の議事録のとおりでございますので、各委員においてご覧いただき、異なるところがありましたら事務局までご連絡をお願いしたいと思います。 ~~~~~
安田 教育長	日程4 経過報告 まず、日程4の経過報告に入りたいと思います。 (経過報告)
安田 教育長	ありがとうございました。ただいまの経過報告につきまして、委員の皆さんからご質問などありましたらお出しいただきたいと思います。本居委員。

本居 委員	3点ほど、主に感想ですけれども、申し上げたいと思います。 先ほど教育長通信でもお話がありました「ひのっこカレンダー」について、いろいろとお声を聞いたのでお伝えしたいと思います。 保護者の方からは、すごくいい取り組みだなということ、また、カレンダーになっていて行事のことも載っているのも、子どもの行事がよくわかり、それに合わせて何をテーマにするのかを載せていただいているので、これをリビングなどに張っておけば常にこれを意識して子どもと話をするきっかけづくりにもなるので、すごく良いカレンダーをいただいたと大変喜んでおられました。 もう1つは、少年補導委員の関係で、私も関わらせていただいているのですけれども、少年補導委員さんには子どもたちと関わっていただいているので、毎回、どんなことをテーマにして子どもたちと向き合うかということで、子どもさんが大きくなられて小学生や中学生の子どもさんがおられない家庭では、今の状況をどういうふうに考えていくのかということが漠然としていてわかりにくいところだったのですが、こういうふうにテーマをあげていただいたことで、これをきっかけに補導委員もパトロールや学校・園へ行くときにこれを意識しながらできるので、いろいろな防犯ポスターとかパトロールするときのきっかけの1つとしてテーマになるものがあって、非常に良いというお声をお聞きしたいのでお伝えしたいと思います。 もう1つは通学合宿のことです。少年補導委員で桜谷地区をちょうど通学合宿の日にパトロールさせていただいて、私も行かせていただいたのですけれども、普段、桜谷の子どもたちはバスで帰るか学童へ行くかで、東桜谷の子どもなんですけど、通学合宿に参加するのに小学校から公民館まで歩いて下校しておられたので、普段そういう姿を、子どもたちが下校する姿を見かけないので、非常に貴重な時間だったということで、地域の皆さんがお出迎えしていただいたというか、みんな揃って子どもたちが帰る姿を見守っていただいている、それはすごく地域の方が普段から関わっておられるというのがすごくわかりました。 また、地域性もあるのかなと思うのですが、子どもさん一人ひとりの名前を呼んで声掛けをしていただいているのが、非常に良いなということで、皆さんが自分のおうちの子どもや孫でなくても、名前がわかるというのはすごく地域の取り組みとしては良いことだなと思いましたので、合宿はできないにしても、日野町内の全地域に地域との関わりが広がっていけばいいなということで、防災についても最近は自然災害も多
--------------	--

	いので、全地区で取り組んでいただけたらなと感じました。 あともう1つは質問ですけれども、先ほどの学校関係の報告の中で聞きたいのですけれども、6月14日の日野小学校での「民生委員さんとの懇談」というのは、毎年実施されているのか。それとも特別に民生委員さんから要望があったのか、内容がわかればお聞きしたいと思います。以上です。
安田 教育長	ありがとうございます。3点いただきましたが、お答え願います。
山中主席参事	民生委員さんとの懇談は、要望があったから実施したのかどうかまでは聞いてないのですけれども、日野小の字担当の職員がいますので、字担当と民生委員さんとの顔合わせをして地域のことを知る機会、そして顔合わせすることで民生委員さんと業務連絡も取りやすくなるのでということで懇談会をされたと思うのですけれども、毎年あるかどうかまでは把握できてないのですけど、ほかの学校でも民生委員さんとの懇談をしている学校もあります。毎年どの学校もしているかと言ったら、その辺は学校にもよるのかなと思いますし、その年にもよるかなと思うのですけれども、ひとつ顔合わせのよい機会になるかなと思います。
安田 教育長	補足しますと、私も日野小にいましたので、その当時から毎年行っていたと思います。夏休みを前にして、地区懇までの段階で顔合わせの実施、教育の話題を中心に各地区で話し合いをしてもらうということ、あるいは字担任から民生委員さんに支援してほしい内容をお願いさせてもらったり、そういう形の取り組みではないかなと思います。 カレンダーのことや通学合宿のこと、どうですか。生涯学習課長。
加納 課長	カレンダーのことについて、お褒めのお言葉をいただきまして誠にありがとうございます。子どもたちに対してポジティブな行動支援をということで、月々どんな声掛けをしたらいいかなということでカレンダーに掲げさせてもらっているところでございます。 それが「ひのっこ宣言」になればいいなという思いがあります。ひのっこ宣言の理念を考えた時に、子どもたちにこれをしようというような宣言でいいのかどうかということが出てきて、結局は我々大人がポジティブな言葉を発していかないといけないのではないかなというところから、カレンダーの言葉が大人にも子どもにも町内に広がっていけばという思いがございいます。来年に向けてまたいろいろ改善し、新しいカレン

安田 教育長	ダーをつくっていききたいと思います。 通学合宿に関しましては、現在、西桜谷・東桜谷・西大路・南比都佐地区が実施しています。対象者が少ない地区はできますが、多いところは、全員が参加というわけにはいかず、かといって参加できる子だけ実施するのがいいのか、その辺が大変難しいところだと思います。また、地域の人に動いてもらわないと実施できないことです。初期に取り組んでいただいたころは、先進地にも視察に行かれたと聞いていますが、もはや当時の先進地よりも日野町の通学合宿が大変すばらしく、頑張っていると思います。 実施されていない、日野小学校や必佐小学校の児童を対象に通学合宿ができないかと提案したこともあります。地域の方のご協力がないと難しいところがございます。 よろしいか。ほかに、よろしいでしょうか。 赤尾先生から、不登校の関係で具体的な数を出していただきまして、克服したケースや改善されたケースが何件か書かれていまして、ポジティブにとらえると、良い方向に向かっているかと思っています。小学校の時にお休みだったけど中学校へ行って改善したとか、あるいは前の学年ではお休みだったが出られるようになったとか、どういう要因でよかったのかということを科学にしないといけないなという感想を持っています。どの先生であってもうまく対応できるように、こういうふうなことをしたらいいのだということが見えるようにしていきたいなというふうな感想を持ちました。 では、なければ次に進みますが、よろしいですか。 (なし)
安田 教育長	ありがとうございます。ないようでございますので、日程5の議事に入っていきたいと思います。 ~~~~~
安田 教育長	日程5 議第27号 日野町図書館協議会委員の任命について 「議第27号 日野町図書館協議会委員の任命について」を議題としたいと思います。事務局から提案説明をお願いします。 (提案説明)

安田 教育長	ありがとうございます。ただいまの提案説明に対しまして、委員の皆さんからご質問、ご意見等ありましたらお出しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。 この協議会は何回くらい開催されるのか、どういう内容を扱うのか、もう少しその点詳しく説明をお願いします。
平松図書館長	協議会に関しましては、最大で年２回までということになっておりまして、今年度、可能でしたら秋以降に２回実施したいなと考えておる所存です。 具体的な内容としましては、これまでやってきたことの内容の確認と、前回、４月の時点で前協議会の方から答申をいただいています。その答申に対して今年度、我々が実施するものを検討しておりますので、そこを協議会の方に確認いただき、ご答申いただけたらと考えております。
安田 教育長	ありがとうございます。委員の皆さんからご意見、ご質問よろしいですか。 (なし)
安田 教育長	ないようでございますので、承認することとしてよろしいか。 (異議なし)
安田 教育長	ありがとうございます。それでは、「議第２７号 日野町図書館協議会委員の任命について」を承認することとします。「(案)」の文字を削除してください。 ~~~~~
安田 教育長	日程５ 議第２８号 第５次日野町子ども読書活動推進計画策定委員の委嘱または任命について 次に、「議第２８号 第５次日野町子ども読書活動推進計画策定委員の委嘱または任命について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。

	(提案説明)
安田 教育長	ありがとうございます。委員の皆さんから、説明に対してご質問などありましたらお出しいただきたいと思います。 それでは、私から質問させてください。山下さんは「子ども読書活動推進団体関係者」とありますが、どういう団体なのか説明してください。
平松図書館長	不登校の子どもたちに対する支援をされているNPOの方で、そういった側面からも読書活動に関しましてアドバイスいただけたらということをおもっています。
安田 教育長	あと、何回くらい開催されて、最終的には推進計画を策定するということですが、それは単年度で仕上げるということですか。
平松図書館長	そのつもりです。基本的には岩崎先生に委員長になっていただこうと考えておるのですが、前段階のところで今計画策定しているところでは、いろいろと各団体で課題として考えられているところをまずは第1回目に吸い上げて、2回目・3回目は実際に実施するかは未確定ですけれども、1回目で取り上げた課題をもとに計画を立て、それを図書館で実施していければというふうに考えております。
安田 教育長	わかりました。第4次のこの計画が今進んでいて、令和6年度の最終的な評価指標ができ上がっているかと思うのですが、それに基づいて総括したうえでの計画ができ上がるというふうなことです。進めてくださると思いますので、よろしくお願いします。 委員の皆さんからよろしいでしょうか。 (なし)
安田 教育長	それでは、ないようでございますので、承認することとしてよろしいか。 (異議なし)
安田 教育長	ありがとうございます。それでは、「議第28号 第5次日野町子ども読書活動推進計画策定委員の委嘱または任命について」を承認するこ

	とします。名簿の「(案)」の文字を削除していただきたいと思います。 ~~~~~ 日程５ 議第２９号 日野町学校・子ども支援連絡協議会委員の委嘱について
安田 教育長	続きまして、「議第２９号 日野町学校・子ども支援連絡協議会委員の委嘱について」を議題とします。事務局から提案説明をお願いします。 (提案説明)
安田 教育長	提案説明をいただきました。委員の皆さんからご意見ありましたらお出しいただきたいと思います。いかがでしょうか。本居委員。
本居 委員	１つお聞きしたいのですけれども、任期が令和６年６月２９日からとなっているのですけれども、前任の小椋先生が退職されてからの期間はどうなっていたのでしょうか。空いていたのでしょうか。
山中主席参事	申し訳ございません。教育委員会に提案ができていなかったのも、空席になっていたということになります。
本居 委員	わかりました。
安田 教育長	いずれにしても、８月３１日で任期が切れますので、新たにまたもう一度教育委員会に諮っていただくということになりますね。 校長先生も今年で退職になりますので、その後どうされるのか検討が必要になるかと思います。校長会の代表が入るべきなのかどうなのかということも含めて議論が必要かなと思います。 ほかによろしいでしょうか。 (なし)
安田 教育長	そうしたら、ないようでございますので、承認することとしてよろしいですか。 (異議なし)

安田 教育長	ありがとうございます。そうしましたら、「議第29号 日野町学校・子ども支援連絡協議会委員の委嘱について」を承認することとします。 事務局からの提案については以上でございます。一旦議事はこれにて終了させていただきます。 ~~~~~ 日程6 今後の予定等
安田 教育長	「日程6 今後の予定等」について、学校教育課から順次説明をお願いしたいと思います。 (説明)
安田 教育長	ありがとうございます。今後の予定についてそれぞれ担当から説明をしてもらいましたが、委員の皆さんからご意見、ご質問がありましたらお出しいただきたいと思います。吉澤委員。
吉澤 委員	先ほど赤尾先生から不登校のことで、学校生活に関するアンケート、これは「アセス」という名前なんですか。
赤尾 課長	はい、そうです。
吉澤 委員	これは定期的にこれでチェックされるのですか。
赤尾 課長	そうです。年間3回、6月・10月・2月です。
吉澤 委員	あえて科学的なデータを分析されるということはとてもいいことだと思いますので、ぜひまた継続と言いますか、こういう形でしていただけるといいのかなと思うのですが、1つ質問させていただきますと、同じ質問項目のものを何回も繰り返していくと、最初は一生懸命考えて回答するのですが、何回もやっていると、答え方というか、向き合う姿勢がだんだん慣れてきて、ある意味では実態をだんだん反映しなくなってくる恐れがあるかなと思って、そのあたりは何かクリアできるようなアンケートの処理方法があるといいかなと思いました。
赤尾 課長	おっしゃるとおり学習効果というのは確かにありまして、いろいろな心理検査でもアンケート調査でも、頻回にやると「こうしたらいんだ」

	という学習効果があると言われているので、期間を開けなければいけないということで、学期に1回程度にしてもらっています。 それと、これの回答の仕方によって、正しく回答できてない、こことここで矛盾があることがわかるようになっていきます。Aさんの場合には、この回答に怪しさがあるとかわかるので、何かあったのではないかと、話を聞いてあげたほうがいいのではないかとという側面もありまして、その辺は十分研究された内容になっております。わざと引っかかるような、こちらで満点なのにこっちでは零点ならおかしいとか。
安田 教育長	村井委員、この間、6年生の授業を見ていただきまして、感想はいかがですか。
村井 委員	個人的に面白かったというか、学校全体で取り組んでいるのはすごいなと思ったのです。私が現職の時に、小さいことですが、子どもの頃、『少女パレアナ』という文学書を読んだ時に、そのパレアナが「いいこと探し」、今日一日起きたことでいいことはなんだろうといつも考えているのです。それはすごくいいことだなと思って、自分のクラスに取り入れたのです。帰りの会の時に当番の子に、「今日何かいいことがあったら、それをみんなに教えてあげてね」と言っても、なかなか出てこないのです。「いいこと」って何だろう、「今日は給食がおいしかった」とか、「友だちが大丈夫？と声かけてくれた」とか、そういうことが「いいこと」だよと言っていたのが、まさしく日野小学校で取り組んでおられて、素晴らしいなと思ったのです。 でも、実際に私はその取り組みを1年しかできなかったのです。なぜかというと、子どもたちには「いいこと」を見つけるのがなかなか難しく、ほかの先生ももうひとつ共感を得られなくて、結局1年でやめたのですけど、それを日野小は学校全体で取り組んでおられると知って、すごく感激、感動しました。 でも、残念ながら各教室を回って行って、先生の熱意に差異があって、すごい熱量の先生もおられるけれども、すごくカードが少ないところもあって、まだまだ始まったところなので、これがもっともっと広がっていったら、子どもたちは本当にポジティブになってくれるだろうなと思って、見させていただいてすごくうれしかったです。ありがとうございました。
安田 教育長	ありがとうございます。熱心に見に行っていて、ありがとうございます。

	ざいます。私の感想でも書いていますが、赤尾さんの資料の改善要因のところに書いてあるように、子どもが学校につながるのは、「①居場所と帰属意識 ②友人関係 ③教員との関係 ④学習」とありますが、教員の熱量によって変わると思います。学級担任の熱量、ここをどういうふうに組み合わせていくかというか、レベルアップしていくかということが大変重要だなと思います。この4つのうち2つがしっかりあれば子どもは学校につながれると書かれていますが、4つのうち2つということとは当たっていると思います。
赤尾 課長	この間の協議会で検討しましたが、やっぱりここだなと。
安田 教育長	勉強がわかって先生との関係がオッケーだったら行けるとか、勉強はわからないけど友人がいて自分の居場所があったら行けるとか、そこだと思います。これは子どもだけではない、職場における大人の人間関係においてもそうだと思います。①居場所、帰属意識 ②友人関係というのは同僚との関係ですね。③教員との関係というのは上司との関係で、④学習は仕事ということで、自分の仕事がうまく回っているかどうか。大人社会の引きこもりということもあるので、そのあたり大きな教訓かなと思いながら拝見しました。 8月21日に教育のフォーラムがありますので、ぜひ皆さん、ご都合がございましたらお越しいただけるとありがたいなと思います。 2つ目は、中嶋みちるさんのふれあい学習の話もあったのですが、7月5日から保育園・幼稚園でも講座が始まります。それもオープンな講座にしてもらおうと思いますので、教育委員の皆様もご都合がございましたらいらしていただければなと思っております。その時はあくまでも保護者向け、パパママ向けに話してもらうのですけれども、その時にふれあい学習会のチラシを配ってもらおうと思うのです。今日は家族に聞いてもらったけど、おじいちゃんやおばあちゃんや近所の方にはまた違う話をしてもらいますので、パパママが来てもらった時におじいちゃんやおばあちゃんに渡すとか、近所の方に渡すとか、口コミで広めていけたらいいなと思います。 3つ目が、図書館長から、学校司書さんが夏休み中に素敵な教室をしてもらえるということで、ありがたいなと思うところです。
平松図書館長	7月10日あたりにと考えています。

安田 教育長	アドベンチャーキャンプに今年は定員オーバーの方たちが集まって、大変ありがたいと思うのですが、4年生以上にしたということが原因ですか、どういう理由だと考えておられますか。
加納 課長	昨年参加してくださった子どもが意見発表をしてくれて、それを聞いて、行きたいなと思ってくれたり、それから、参加した子どもが、よかったよと口コミで下の子や同級生に言ってくれたことが大きいと思います。コロナがあって参加者が減ってきて、キャンプはいいよと口伝えで言える人がなかったというのが大きかったなという思いがあります。
安田 教育長	それはそれでよかったのですが、町子連が6月16日に「みんなで遊ぼう」を開催したのですが、10人しか集まってなかったです。私も見に行ったのですが、そこにもう少しテコを入れないといけないと思うし、日野町独自の、子どもたちが自分のまちを見渡す、学校では教えてくれないことを社会教育から学ぶという、そんな事業展開を、もっと魅力のあるものにして子どもたちを集めてやってほしいと思います。 少年少女スポーツ教室とかカルチャー教室もあるけれども、ほかにもそういう学びを求めている子がいるのではないかなと思うし、そういう子どもたちみんなが参加できるような場づくりをこれからもしてやってほしいと思います。年間計画が決まっているので今年はもう無理だというふうに今の時点で宣言をするのではなしに、今の時点でも今年度の事業をいろいろと見直しをしながら、子どもたちが集まれるような事業をしてやってほしいなという、これはリクエストです。よろしくお願いします。 ~~~~~ 日程7 その他 それでは、今後の予定で2つの連絡事項と、日程7のその他について説明をお願いします。 (説明) ~~~~~ 日程8 閉会 それでは、これで終了させていただきます。6月定例会、大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。 (閉会)
安田 教育長	
安田 教育長	